東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ
世界への
プレゼントに
なろう

世界へのプレゼントになろう

Vol.49　第2386回例会（新年会・夜間移動例会）　2016.1.7

今年度会長テーマ　ロータリーでハッピーライフ！

■司会：
山本例会運営委員長

■点鐘：戸澤会長

■国歌：君が代
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：
目時パストガバナー補佐

お客様というより我々の先輩。素晴らしい友人でもある細渕一男前東村山市長さんであります。ようこそいらっしゃいました。26年前に細渕前市長さんが会長の時に宜野湾ＲＣと友好を結びました。本日はよろしくお願い致します。

■会長報告　戸澤会長

皆様おめでとうございます。先ほど、『あづま』の下の部屋で今年初めての理事会を行いました。
会務報告です。元日に東京東村山ロータリークラブを代表して八坂神社に参拝しました。午前11時からの厳かな元旦祭。参拝客が駐車場のほうまで長蛇の列を作っていました。（奉納１万円）

今朝の読売新聞の『編集手帳』を紹介します。1954年3月1日にアメリカがビキニ環礁で水爆実験をやった。日本の第５福竜丸が被災。今回北朝鮮のことがダブってしまいます。野暮なこと。その後流行った歌『大当たり景気節』（西条八十作詞、上原げんと作曲の歌詞に『サクラ咲く、咲く平和の空で、野暮な原爆ためすバカ』とある。正に昨日の実験は、威厳を保つためなのか、それでなくても国際社会から孤立しているのにこれ以上孤立してどうする。どうせ試すのなら、思い切って生き延びるほうにかけてみればいいのに。と記事にありました。

12月の収支報告書は、赤木会員に代わって飯田幹事が発表し、了承されました。

今年あと３回ある夜間例会は、八坂神社で中身を充実させて開催したあと、別会場で懇親会を行います。

TRC合同例会については、次回例会(1月14日)前の時間に臨時理事会を開催します。決定したら今月末には各クラブに通知します。

東村山市民周回駅伝の協賛金については、２万円に減額して実施します。

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30
■例会場／八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／北久保　隆一
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500　FAX 042-395-1166

■幹事報告　飯田幹事

■国際ロータリー日本事務局：
・2016年1月のロータリーレート　1ドル＝120円
・ロン・バートン元ＲＩ会長を語る不審なメールについて
1月6日頃、ロン・バートン元ＲＩ会長の名前を語る不審なメールを受信したとのロータリアンからの連絡あり。開かずに削除を。

■(財)バギオ基金：礼状の受理　樺澤襄会員

■例会変更：
・東京御苑ＲＣ　3/24(木)→3/23(水)友好クラブとの調印式
・東京リバーサイドＲＣ　2/25→移動例会

■例会時間変更：
・東京リバーサイドＲＣ
2016/2/4～6/30の間12時25分点鐘

■礼状受理

■『バギオ基金』からの礼状受理：樺澤会員

■出席報告　石山会員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
29	25	0	2	92.59

■ニコニコＢＯＸ　西河会員

◆細渕名誉会員：今年も宜しくお願いします。
◆戸澤会長・飯田幹事：新年明けましておめでとうございます。細渕一男名誉会員に卓話をお願い致しました。よろしくお願い致します。また、突然でしたが、多摩信の西河支店長(平成24年3月入会)が転勤になりました。ありがとうございました。後任の森田学様、東京東村山ロータリークラブに入会おめでとうございます。
◆野澤会員：皆様明けましておめでとうございます。今年は大変穏やかなお正月でした。そんな一年にしたいものです。皆様のご健康とロータリーの発展をお祈りいたします。細渕様年頭の卓話ありがとうございます。
◆相羽会員：明けましておめでとうございます。今年も１年よろしくお願い致します。
◆當麻会員：明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
◆金子会員：おめでとうございます。細渕前市長様、ご多用のところ本日はありがとうございます。今年もよろしくお願い致します。
◆野﨑会員：明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い申し上げます。
◆町田会員：明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。名誉会員細渕一男様、卓話を頂けること、楽しみに待っています。
◆山本会員：新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
◆岩原会員：今年も宜しくお願い致します。まだまだたくさん勉強しないといけないと思います。皆様よろしくお願い致します。
◆清水会員：本年もよろしくお願い致します。
◆嶋田会員：皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。
◆樺澤会員：明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。
◆目時会員：明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。
◆中丸会員：皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。細渕様本日はご多用の中、ようこそお越しくださいました。ありがとうございます。
◆野村会員：今年も良い年でありますように次年度に向かって頑張りましょう。
◆小町会員：穏やかな新年を迎えました。今年も正月は箱根で駅伝を観て、お酒三昧で楽しかったです。本年も幸多かれと、よろしくお願い致します。
◆田中会員：新年明けましておめでとうございます。大事な大事な50周年に向けて心ひとつでまとまりましょう。よろしくお願い致します。
◆大仁田会員：伝統ある東京東村山ロータリークラブの発展に微力ながら頑張らせて頂きます。今年もどうぞよろしくお願い致します。
◆村田会員：明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。下半期、プログラム委員長、頑張ります。宜しくご協力のほどお願いします。
◆北久保会員：新しい１年。皆様と共にこうして迎えられることを大変幸せに感じています。
今年もご指導、よろしくお願い致します。細渕一男名誉会員、本日はありがとうございます。また、西河さん、いろいろお世話になりました。後任の森田様よろしくお願い致します。
◆石山会員：平成28年が素晴らしい年になることを期待して、ニコニコボックスします。

◆野澤(厚)会員：初日の出も見られ、お正月、お天気で良かったですね。皆さんお元気でなによりです。今年もよろしくお願い致します。

本日のニコニコ合計：　67,000円
累　　計　：　671,000円

■ご挨拶

■1月20日付けで武蔵境支店へ移動
→後任森田学様

■西河会員：

２年間お世話になりました。このたび１月20日付けで武蔵境支店に異動となりました。初めてでなんだか分からなかったのですが、ロータリーの皆様の温かさが嬉しくて、ここに来ることが、自分が楽しく励みになりました。支えて頂けたことを本当に感謝しています。異動してもこちらで培った気持ちを大切にして、奉仕の気持ちを持ってやっていきたいと思います。後任は、高尾支店からきました森田と申します。

■森田学様：

明けましておめでとうございます。西河支店長から紹介がありました森田学と申します。前店舗は高尾支店長でした。その前には東村山の秋津支店長でした。西河支店長やそれ以前の支店長に負けないようにしますので、ご指導よろしくお願い致します。

■卓話

■卓話者紹介：村田プログラム委員長

■卓話者：
細渕一男名誉会員

テーマ：『人は何をすべきか』（雑感）

今、RCの例会の進み具合をみて懐かしく思いました。皆さんご存知のように、今から111年前。1905年にポールハリスという青年弁護士が荒れていたシカゴの街をなんとかしなくてはという思いでつくりました。当時の社会情勢と今の時代とでは違いますが、今は世界的な乱雑な時がきているように思います。RCは、世界に浸透していますが、ロータリー精神で皆さんが想いを語って頂くと争いもないし、本当に人間として人間らしく生きる大きな心を大事にした社会が来るだろう。このように思っております。

私は1935年8月16日生まれですから、丁度10歳の時に戦争が終わりました。B29が富士山をめがけてきて、北東に変え、東京を襲ってきた。日本の軍隊が高射砲で打つが届かない。そして、戦争が終わったら、家の前をトラックやジープでアメリカの人が着剣をして化成小学校に武器を取りにきた。その後、食料が無い、着るものが無い。今は、着るものも食べるものもあって言いたいことも言える。戦争末期の時は、英語は使ってはいけない。野球やってもストライクなんて言えない。『いい球』。ボールは『駄目』。争い事は良くないですね。

話が戻りますが、1905年2月23日にポールハリスがシカゴの荒れ狂った街をなんとかしようということで石炭商の人と、鉱山技術者と仕立て業の人と集まっていろいろな話をしたそうです。友愛の心で事業者が集まろう。更にそれを良く知るために週に1回集まろう。ロータリーはそういうことから始まっているのですね。職業奉仕やら社会奉仕やらいろいろ変わっていくのですが、その辺は釈迦に説法ですのであえて言いませんが、みなさんはその辺を良く理解しながら『ロータリーというのは社会に対して、奉仕を通して、自分の職業を通して社会の健全に努力することが根底にある』。わたし共は炉辺会合で、先輩と一杯飲んで帰れるのかなと思ったら、さんざそうした話を聞かされた経緯があります。それは決して無駄になっていないですね。人は人を思いながら。自分の事業を延ばすには自分だけではない。ひとりで生きられませんから、みんなでいろいろな方策を考えながら、『和をもって尊しとなす』ではありませんが、そこでみなさんと情報交換しながら社会や地域に貢献しようということであると思います。当時は1業種ひとり。ポールハリスは弁護士ですからお客をとらなくていけないこともあって、それがどんどん広がってみなさんとこうしてご馳走の前でこうして一緒にお話ができる組織になった。

考えてみると、戸澤さんから今日来なさいということでありましたが、みなさんは自分の人生哲学を持って非常に厳しい社会でありましたが、いろいろなところを綺麗に見事に歩いて今の地位を築かれたのであります。こうして和やかなうちに心をふれあい、それを持ち帰って自分の職業に生かすことができる。いづれにしても職業を通してあまりバカ儲けをしてはいけない。儲けてもいいからそれを社会に貢献できるような状況で自分の力の範囲に。それなら良いけどというようなことを炉辺会合で聞いたのを思い出しました。みなさんの前で話すのは身の引き締まる思いでありますが、意義あるこの第一例会で皆さんに声を掛けて頂いたというのは大変光栄です。

『自分の判断をする時に、その判断で、その人格が変わってきますね』議会などでよく反対されましたが、私は私で基準をここに置いて、良い街にしよう。良い地域にしよう。そしてみんなが安心できる街にしよう。ということでしたから強引に突っ走った所もありましたが、それが今考えてみるとあまり間違ってなかったなと思います。自分の欲だけで物を売ったりする。自分の性格、人格というのでしょうか、自分の心が乱れてします。良くないですね。だから如何にお金を積んでも、如何に高等な理論でやられても人の心をキャッチすることは中々出来ませんね。下手な言葉でも振る舞いによってその人が振り向いてくれるようなその人の心を捕まえるようなそういう振る舞いというのは大事ではないでしょうか。これからも大いにロータリー精神を生かして、自分の職業を通して、アイサーブというのでしょうか。ロータリー

は自分なりにこの会合でいろいろな心の触れ合いをして自分の職業を通して奉仕しなさいということが趣旨のようです。

分区幹事をさせて頂いた時に、ウイサーブではないかとお叱りを受けましたが、多摩カントリーでゴルフをやりました。そこの費用は全部奉仕しました。時にはいろいろなことを考えながら。ルールを外してパンクさせないように。私も行政を預かった時に言いました。規則はあるよ。だけど自分たちが考えをして判断して市民や地域のためになるときは思い切り膨らませてもいいよ。その代りそれを撥ねかしたら駄目だよ。終わったらまた基に戻って、また次のことを考えよう。こういう思いでやってきました。ですから、平成７年。入った時に550億円位借金があってと言っていました。良く調べたら、その金額は下水道の整備のためのお金でした。考えてみると下水道が完備すれば価値が上がるわけです。だからこれは借金ではない。これはあくまでも投資なのだから、これは余り重荷に感じないで皆んなでなんとかしよう。平成８年の予算が組めなかった。しかし、お蔭様で優秀な職員一杯いましたから、皆さんで何とかしようよということで乗り越えてきました。杓子定規や法律で合わせていけば楽かもしれませんが、そうではないんじゃないんですかね。人間というのは。きょうも銀行屋さんの引き継ぎがあったようですが、『銀行はどうやって金を貸すんだい？』と聞いたら、『最後は、人を視て貸します』。やっぱりいいな。そのように思いました。私が始めたころは資産がなければ駄目。収入がなければ駄目。基本的なことでしょうが、そこに情熱を燃やしてやる人間がいた時に、それを頼りにやる人になって頂けると、新会員になられる森田さん、ありがたいな。（笑）。

東村山市は昭和39年市制施行以来、1回も『財政力指数が1』になったことはないのですね。財政力指数が1ということは、その地域で集めたお金で自分たちの暮らしができることが1。お金の入る体制を作って、その余力ができたら民生費、福祉に掛けよう。そんなことをいろいろ議論しました。税収が東村山市の倍以上ある武蔵野市の土屋さんのところへも行き、議論しました。判断するときに、どこに判断基準を置くか。によって決まります。

『ロータリアンの皆さんは、自分の意思だけでものを計らないで、その人の立場を考える心の広さを持つことが大事なんだろうな』。皆さんそうだと思いますが、是非人との付き合いの中で今私どもは何をやりたいか。今年の阿倍総理の初めての記者会見で言っていましたね。『今年は、挑戦、挑戦、挑戦あるのみ』。このように言っていました。いろいろな批判があるのは分かりますが、今のままで今が良いか。そうではない。各界各層の人の色々な思いがあります。（略）柔軟な思いを頭の隅に置きながら、ロータリー活動を通して、『大いに地域に』。反対のための反対では何も出来ません。（略）

『ふるさと歴史館』を造りました。お金が無かった。東京都に向かって、『ふるさと歴史館は過去からず～と今に繋がるひとつの路があり、大きなテーマは一つの路として造っている。土地の人がいっぱい来るでしょう』。こうした話でご理解を頂いたことがあります。

『人の心はどう動くか』。それには、自分の源をしっかり見て、人間大好き。あなたと共に街づくりをしっかりしようよと言ってきました。反対されましたが、『最後は人の心ですね』。戸澤会長以下、飯田幹事。そして、目時俊一パストガバナー補佐、野崎多摩分区ガバナー補佐、町田多摩分区分区幹事を始め本日お揃いの皆様は、素晴らしいエネルギーをお持ちのかたばかりでございます。エネルギーを発散して人の心を動かす。良い人間関係を。良い地域を。そして、ロータリーの益々の発展をこれから頑張っていこうではありませんか。

沖縄の宜野湾ロータリークラブとの友好のお話が出ましたが、あの時は、うちからガバナーが出ていました。ガバナー公式訪問で、阿部士良ガバナーと地区幹事で行って約束のようにしてきました。例会を総会に変更して協議、友好クラブになりました。沖縄は夜が強い。泡盛も平気。帰りに新宿の中華屋で紹興酒を３本位。そんなことをしながら、ガバナーと幹事と私と心が繋がって奥の奥まで応援してくれました。

私のオフクロが言っていました。『人間は形（ナリ）で判断すんじゃない』。『本当に自分の心を込めて対応しなさい』。皆さんは心の大きな人たちの集団でありますから、これからもっともっと出来ていくことと思います。きょう呼んで頂きまして、戸澤さんありがとうございました。これからも心豊かな社会の構築のために、皆さんのエネルギーを東京東村山ロータリークラブから出してください。

ありがとうございました。

■謝辞と花束贈呈：戸澤会長

年の初めから良い話を頂きました。30分も卓話をして頂きありがとうございました。

■閉会点鐘：戸澤会長

■懇親会

■司会：
北久保クラブ管理委員長

■懇親会開会の挨拶：
金子会長エレクト

只今は細渕一男前市長、名誉会員から心温まるお話を伺いました。皆さんもお心に響いたのではないでしょうか。そのご利益を皆さんで共有して頂き、あと半年、戸澤・飯田丸が順風満帆で就航しますように。そして、そのあとは、私と北久保二人で皆さんのお力をお借りしてなんとかやっていきますので、目時実行委員長さんを含めて50周年。どうぞ、どうぞよろしくお願い致します。それでは開会致しますのでよろしくお願い致します。

■鏡開き：
細渕名誉会員、目時会員、野崎会員、町田会員、戸澤会長、嶋田会員、樺澤会員

■乾杯の発声：
野崎多摩分区ガバナー補佐

先ほど細渕一男名誉会員の心に沁みるお話を伺いました。そのようにしていかなくてはと感じました。今年は東日本大震災から３月11日で丸５年になります。発生後、福島へ真っ先に駆けつけて物心両面から支援。「ロータリー希望の風奨学金支援特別委員会」では、被災地の子供たちが大学を卒業するまで。直に触れ合う形は非常に大事かと思います。東村山市は安全安心の街でありますから、地元にも安心して活躍できることになっておりますので、稼いだ余力のお金と力を社会奉仕活動、ロータリー活動に何分か頂ければ有難いと思います。それでは、皆様方のご健勝とお仕事とロータリーの益々のご発展をお祈りして乾杯したいと思います。
乾杯でご唱和ください。『乾杯』。

■お開き挨拶：
嶋田パスト会長

今年も新しい年をこうして皆さんと迎えられました。歴史と伝統ある東京東村山ロータリークラブを皆さんと共に助け合って盛り上げていきましょう。本日は細渕一男名誉会員様をお迎えして意義ある年の初めになりました。それでは、皆様とご家族様のご健勝とロータリーの発展を祈念して一本絞めを行います。以上